三日 庚子 晴

一 鶴亀参 御灌頂也

一 右ハ前々ゟ参ル由申来ル 子之助
　承ル

一 美濃　光長参

一 門　右 同御母

太郎来

一 同

右中院殿ゟ見舞ニ見え

四日 辛丑 晴

一 さむ方参ル

五日 壬寅 晴

一 今日も雨 不参

一 今日 [illegible]之　親王ゟ参

右ハ此度 御上洛ニ付 [illegible]

日[illegible]ゟ [illegible] 御[illegible]

大[illegible]野[illegible] [illegible]

一 [illegible] 御[illegible] [illegible]

[illegible] 御[illegible] 上[illegible]

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

勝の事ども

六日癸卯晴

一 ○○○○

七日甲辰晴

一 白井村今年神○○○○
日向明神祭

八日乙巳晴

一 雨石等重候事有之

一 ○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○

九日丙午晴

一 菜漬

九ツ半過

一 ○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○

十日 未晴

十九日 未晴
一 昨日より東風ふく今日も出勤
二

十一日 戌 中晴
一 例刻出勤
一 今夜権中納言所労例失火ニ而禁
中方出仕 中文御所ゟも御上ゟ
すぐ御出仕被
一 御局
藏法
大ノ例勤ル

十二日 亥 雨
一 例刻出勤

十三日 庚 晴風
一 例刻出勤
一 巳刻
大ノ例勤ル
一 七ツ時
雨ふる

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

六日乙卯晴
一御所出御

十日己酉晴
一御所出御

二十日丁巳晴
一御所出御

廿一日戊午晴
一御所出御

廿二日己未曇
一御剃出御

廿三日庚申雨
一御所出御

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

右綸旨文言月次之
節ニ御しるし有之
候ハヽ年号ニ
拘り申間敷
候ハヽ
歟

十日丙子晴

一孝宗典侍殿来七月十六日三十三
回忌ニ付今日より
精進
被
申候

一右京大夫殿
七ツ半時
保十文
ハ
十三
ハ
十三

三条殿
保光卿
権中納言殿

来三日
御出
之旨

一旧例御門跡
御参内
之節者
御車寄
迄
御出
之
御事
之
由

一御車寄ニ而
御下
之節
御門
迄
御出
之
御事
之
由

一例之
御出

十八日丁巳晴
一御剃髪
十二日戊寅
一御剃刀始
一御髪置之儀
右此度中山家より献上之事
十三日己卯
一御髪置
一御祝儀
十四日庚辰
一御髪置御祝
一謡之儀

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

十六日 壬午 雨

一 宗具院殿三十三回忌於本法寺法事
御打之例也上下公家八人伺候
一 御能御興行之例上下公家三人
六位武位伺候
一 御能御興行之例上下公家
伺候

一 今朝御湯殿四巻
二巻雑煮
布施
四件料紙
幸法
菓子 三荷

一 廿日 如雨
大炊寮菓子 案内如来参
小倉也

一 香典 銭三包 蝋燭二挺
婚姻 一袋 菓子一荷
霊供 二十五膳
大炊寮供料 銭百疋
太元赤飯 未被仰下

一 菓子二荷
金銭 宗文
服紗 菓子 一荷
包銀 三枚

一 廿一日 壬午 雨

二十日丙戌晴
一例刻出勤

二十一日丁亥
一例刻出勤

二十二日戊晴
一例刻出勤

二十三日己晴
一例刻出勤
一従伝奏平松侍従大納言殿
中将殿御局人数、年内勅答
之事

二十四日庚晴
一例刻出勤

二十五日辛雨
一例刻出勤

二十六日壬晴
一例刻出勤

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

六月朔日丙申晴

一例刻出勤

一中宮御方、若宮御方へ御参

二日丁酉曇

一例刻出勤

三日戊戌雨

一例より遅出勤

四日己亥雨

一例より遅出勤

一勅使吉良左宮権封関梨

宣下ニ付、御内々ニ而御祝詞申上

一仙洞御所御由緒ニ而御礼ニ

御参内ニ付、御供ニ而参内

五日庚子曇

一例刻出勤

一御礼遅参ニ付、御役

御持弁中納言殿へ

御内々ニ而

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

九日甲辰 雨
一例祈年祭

十日乙巳 晴
一例祈年勅

一勅奏左大弁宰相重良卿 左衛門督
[illegible] 中務卿 [illegible]
[illegible]

十一日丙午 曇
一例祈年勅

十二日丁未 晴
一例祈年勅

十三日戊申 晴 夕雨
一例祈年勅

一来剋比雷鳴陰雨生所深
地無甸狂密未止和之頃雷震

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

十七日壬午
一御祓出御
十八日癸未
一御剣出御
十九日甲申 雨天
一御祓出御
一毋寺ノ三物加護 御奉
安倍掃部ノ奴
廿日乙酉
一御祓出御
廿一日丙戌
一出御如例
一所司ノ三物加護 御奉安倍掃部
奴ヲ清涼殿ニ召シ之ヲ例

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

一 定米御料所
　　御免地ト
　　七箇国ノ諸領ニ毎月定米ヲ
　　備ル事

七日 壬未 晴

一 今朝雪山ニ骨ヲ拾
　　骨納墓相加ル葬礼終ル文
　　ヲ載ル也骨ヲ拾ヒ終ルノ
　　後ハ墓ヲ築ク事ナシ骨ヲ
　　壺ニ納メ右ノ方ヘ埋ム事
　　ト云伝ヘリ

一 勅使 平松侍従 葬礼ニ臨ム雪山
　　神名小仕廻後ニ墓ニ刻ム事
　　名ハ御死後ノ号ヲ用ル外ナシ

一 勝ニ乗テ兎角ヲ争ヒ事ヲ不
　　分ル不ル

八日 癸申 晴

一 今朝ノ白木ヲ雪山ニ骨ヲ拾
　　骨納墓相加ル葬礼終ル文
　　ヲ載ル也骨ヲ拾ヒ終ルノ
　　後ハ墓ヲ築ク事ナシ骨ヲ
　　壺ニ納メ右ノ方ヘ埋ム事
　　ト云伝ヘリ

一 勅使 平松侍従 葬礼ニ臨ム雪山
　　神名小仕廻後ニ墓ニ刻ム事
　　名ハ御死後ノ号ヲ用ル外ナシ

一 定米御料所
　　御免地ト
　　七箇国ノ諸領ニ毎月定米ヲ
　　備ル事

七日 壬未 晴

一 勝ニ乗テ兎角ヲ争ヒ事ヲ不
　　分ル不ル

八日 癸申 晴

一 今朝ノ白木ヲ雪山ニ骨ヲ拾
　　骨納墓相加ル葬礼終ル文
　　ヲ載ル也骨ヲ拾ヒ終ルノ
　　後ハ墓ヲ築ク事ナシ骨ヲ
　　壺ニ納メ右ノ方ヘ埋ム事
　　ト云伝ヘリ

一 勅使 平松侍従 葬礼ニ臨ム雪山
　　神名小仕廻後ニ墓ニ刻ム事
　　名ハ御死後ノ号ヲ用ル外ナシ

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

一御供井御膳

御機嫌

用之儀

一例刻出勤

一御祝儀

一例出勤

一御祝儀

一例出勤

一御祝儀

一例出勤

一例出勤

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

十三日 丁未 雪

一例年之通

一右馬権頭殿被仰渡之趣今晩右馬権頭殿

一大御所様へ御祝詞之事申上候処

例年之通

西刻 申上候

例年之通

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

十六日乙酉晴
一例刻出勤
一井伊掃部頭
大四位并近習共口上
十六日癸酉晴
一鍵番 二十
陰飯 一ツ
右之通
仙洞御所ゟ御使者ニ而
御参内之御沙汰
一上﨟
仙洞様
中之様
東之様
右四方御局へ御使者ニ而
御祝儀
御神酒
一御祝儀ニ付
右御勤之御方様
御局々々へ
御祝詞
御神酒

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

十六日壬午晴
一例宮出勤
一御霊会ニ付
御供御使
一
十七日癸未
一例宮出勤
十八日甲申雨
一例宮出勤
十九日乙酉
一例宮出勤
二十日丙戌
一例宮出勤

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

九月朔日甲子

一例年之通

一中宮御所へ

一例年之通

一例年之通

二日乙丑

一例年之通

三日丙寅

一例年之通

一

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

四日 丁卯
一例刻出勤

五日 戊辰 雨降
一例出勤

六日 己巳
一例刻出勤

七日 庚午
一例出勤

八日 辛未
一例出勤

一唐よ来ル
大炊御門前大納言殿御参内
御用ニ而御出

九日 壬申
一高倉前大納言殿 中将殿御参内
御用ニ而御出

一例出勤

一菊石被　半天御参内之事

板下被来之事

一御菜出来

一御所様御参内

十日癸酉雨

一御膳出来

一半山椒　慶

大内御拝山之事　清二帯ス

十一日甲戌雪

一御琴参上　庭田亭

一ちね井宮様山本石見守

川守久左

十二日乙亥雪

一御膳出来

十三日丙子雪

一御剃出来

一酢　一壺　作蔵持参

大内之事世御通之事

十四日丁巳晴

一御献上菓

一今日関白政熙公女叡君御方
　実家御休所御内意ニ而御出
　之候

十五日戊午雪

一御献上菓

一小倉中納言様ゟ来ル御所様ゟ年頭
　ニ御参候

一　廣橋一位殿

大御乳人殿御参内被ニ候

山科ニ而御振舞

大御乳人殿ニ而

廣橋一位殿

大御乳人殿ニ而御振舞ニ候ニ付

日野中納言殿

大御乳人殿ニ而

一中山大納言様ゟ御使ニ而七条宰相殿ゟ

御使ニ而

日野中納言殿

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

二日乙未
一例刻出勅

三日丙申
一例刻出勅
一番奏 吉事
大事ヲ行被申忌ヲ勘被
宣旨ヲ蒙ヲ勘申勅

四日丁酉
一例刻出勅
一摂関ヲ始メ宗門ノ諸家父子共ニ名ヲ
出ス例勘出勅
一元服 四位已上
侍従已下例勅
一蔵人一名 七人ノ内
大内ノ古実ヲ存ル輩ヲ勘申勅

五日戊戌
一例非出勅

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

十二日乙未
一例刻出勤
一今日ハ御用ノ
十三日丙申
一例刻出勤
一参内ノ例
十四日丁酉
一例刻出勤
一木練拵三ツ　山科ヨ
大内例ノ通被差出候事
十五日戊戌　十三　生源三位ヨ
大内例ノ通
一例刻出勤

十六日己酉　晴

一 御張出御

一 中宮御方ゟ小袖料ニ而　白銀

奉上召席下拝領　御礼

今日

一 単物一疋　十七日　拝去

右者私儀拝借申受取候

十七日庚戌　晴

一 御剣出御

一 御代始ニ付面会有

来ル　御息所御治定之由　但大

奉御年賀　御父関白殿下御

来ル十七日御弘メ申上候　御内証

昨日中被　思召為御治定　由来承候

存入奉恐悦候

一 来月御代始　御関白政熙公

御息女　寛君御方御治定之ニ付

信濃守殿御請取　右御礼

[illegible]

一 右之儀奉恐悦候　且

申上　右之儀も御礼申上

同中

中上候

右 [illegible]

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

四日　丁卯　晴
一　御制札出勤
一　関東大納言家慶卿簾中楽宮
御方去三十日卯上刻御産若君御
誕生之処御逝去之由也

五日　戊辰　晴
一　御制札出勤

六日　己巳　晴
一　御制札出勤
一　東吉川村義兵衛
一　関東若君御誕生ニ付為伺服届
代官御役所へ出勤之処例之通明日右
披露可有之旨被仰渡候
一　右之趣今日内願之由申出候
監年月届之

一　寄子一名出来
大和掾
神田貞亮
右御用出済神妙之事

七日　庚午　晴
一　御制札出勤

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

七日庚午晴
一例刻本勤

八日辛未晴
一例刻如勤
一諸社稲荷社如嘗祭小豆飯和
酒供之例

九日壬申晴
一例刻如勤

十日癸酉晴
一例刻如勤

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

十五日 晴
一御祈申事

十六日 卯ノ
一新嘗祭也
一昨夜酉半剋、汲水後、気色悪
酉剋ヨリ小便ヲ不通、
但シ昨晩両度尿ノ
後ノ雑炭
煎湯ヲ用ル、千枝伝奥
ヨリ
御祈ヲ申ス
湯ヲ飲ム事ヲ
伝奥ヨリ申ス
古板ノ
小田切豊
後ノ
御祈ヲ拝ス、事ノ
行事ノ
参ル、千枝伝奥
参ル、
退ク事ヲ
再ヒ
御祈ヲ申ス
御祈ヲ拝ス、
預ル、
大臣
御陣ヲ
人ヲ
御祈ヲ申ス

二十日癸未晴
一御剃髪事

廿一日甲申晴
一御剃髪事

廿二日乙酉晴
一御剃髪事

廿三日丙戌晴
一御剃髪事

廿四日丁亥晴
一御剃髪事

廿五日戊子晴
一御剃髪事

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

一御剃刀御取ニ参ル

一宝鏡寺宮被参御逢被成

五十回御忌今日御営有之

御しきみ被献之

御門主ニも今日御参内

有之

十二月朔日甲午

一御弁出和

一中宮権亮参殿、参ル

二日乙未

一御弁出和

一西園寺、園井僧正従今夜

当住妻戸ニ参籠ニ付

三日 酉 中冬

一今暁から小雪降る

一昨夜御寝後

仙洞御方へ参る

一松殿御宿御参内之由

一仁和寺御室御参内之由

為年賀到

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

切停止

一鍛冶中　禁中
御加持ニ参ル
宝

一明朝ゟ御所内ニ而ハ
ゟ宝　東内矢ニ停止

一院御所ニ而番衆ニ
九日壬寅
一御到来
一仙洞様　御内儀
十日癸卯
一御到来
一御祈禱
十一日甲辰
一御到来

十一日甲辰晴
一御剃刀初
一仙洞御所へ指
一四位侍従 伊達宰相 等 伊達宰相
権中将 従四位下 侍従
一幕府年寄 土井大炊頭 利位 使者
十二日乙巳雪
一御歯固如例
一今日来聘事 儒官 林大学頭 信篤 使者
中奥御番 加藤出雲守 泰恒 使者
一両伝奏 万里小路中将 惟房
権中将 正二位 藤原 宣順
一御剃刀
十三日丙午晴
一御祝儀 如例
一御盃 如例
一御吸物 如例
一御肴 三方 如例
一御雑煮 如例
一御盃 如例
一御吸物 如例
一御肴 三方 如例
一御雑煮 如例

十三日 雨 平座
一御祓出御
廿四日 丁未 雪
一御祓出御
一酒宴 清涼殿
大内女房参入 御学問所
一楽 二座 楽人 陪膳
史参入 御学問所 酒宴
廿五日 戊申 晴 暖雪
二十刻以後
一御祓出御
一今夜 竹内 式部 参入
御学問所 御講釈
十六日 己酉 晴
一御祓出御
一晴山打

一御剃初
一陽成院
七日 御忌
一御剃初
一後陽成院
御忌
中宮
二十日 御忌
東宮
五日 御慎
十六日 晴
一御剃初
十九日 晴
一御剃初

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

二十日 壬子 雨

一御剃髪御
一関東ゟ
上皇山陵御法橋使
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

廿一日 癸丑 雨

一御剃髪御

廿二日 甲寅 雨

一御剃髪御
一非蔵主年

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

十二月 祝り餐事始
一例刻出御
一菊の花を七つ献上有之
常服ニ
二日甲 天晴暖香
一例刻出御
一今日代酒井讃岐守殿へ御使御干菜ヲ献上ニ而
ニ而下賜
三日乙 天晴
一例刻出御
一本多内匠頭殿へ御使御干菜ヲ献上ニ而
ニ而下賜
木附後両金ニ而進ス仲秀ニ而
雪景ニ而
四千疋ニ而
月門
門内
木附後一品
徳川太志殿

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

八日 庚午 雪

一 蕎麦粉 一袋　松田千家より

右如例於年貢日より

一 顕首座 故禅閣殿 依早速心空華院殿

来四月八日一周忌之事今度々

被仰出於二尊院御法事被之候

御内借之儀承候所御沙汰ニ付何分ニ

顕首座 依之以御養料ニ御貸渡

候哉之由被仰 二尊院へ申渡し

御法事料 銀 精銀 御弐枚宛

宮之御沙汰ニ而 御寄付

故禅閣様御預御銀御下付 壱分

相成も被為在 不相成候分

御内銀之内 辰年出宅 乞候

諸拂等 并 此之 依而御引渡

被仰付 為御取替 此被渡

割賦ニ取計 年々 本 御

貸渡ニ相成 御茶 本庄 二

割入 会所ニ 被 御預 御

承之上 会ヨリ 分納 相済

十一日癸酉
一例刻出勅
一権大納言
大炊御門
一文業
大学寮の舞如来
廣山寺
於仙洞

十二日甲戌
一例刻勅

十三日乙亥
一例刻出勅

十四日丙子雪
一例刻出勅
一御葬送前二弁松子内侍

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　ガラス使用

十六日 戊寅 晴

一今日遣語奏禁闕之例盤
事和奏哺時申刻日蝕
ゟ九ツ半時分迄

一後桜町院院號 御葬送自来
廿四日 御葬
御門ゟ 院参 此時 御供
如前々後 院参 此時 御供
御門ゟ 院参 此時 御供
是年 来正南面 常御所
〃 物氣 勅定 中陰未一刻
御車 西 御ゟ 禁裏 御所
仗 御出 御帰 御供
右跡あと 手控ゟ

一所司代 牛四匹 繋之 御使 参内
院参 八ツ半時 三条代 廣橋宰相
次 御供奉 堂上方 二條左宰
院勅使 次一 右中弁 敬持
院使 右馬助 奉行 寺院
寺院 右馬助 使 次第